

## 採択に当たって考慮すべき点について

- 最終的な支援団体数については、委員の意見を踏まえつつ、柔軟に決定する。ただし、支援金総額については、今後の基金事業の安定的運営に配慮した額となるよう留意する。
- 特定の事業内容に偏らず幅広く様々な事業を支援することが必要。よって、申請数の少ない事業類型についても採択団体があることが望ましい。
- 団体種別については、法人類型や法人規模に関わらず、様々な団体を支援するよう配慮が必要。今後の国民運動の広がりを期する意味でも、事業内容のみならず、今後の成長等も考慮した審査を行うよう配慮する。
- 子供の貧困は全国的な社会的課題であるため、申請数に応じて、採択数に差が生じることはやむを得ないものの、どの地方(ブロック単位)にも採択団体があるという状態になるよう配慮する。